

全国福祉保育労働組合

第22回

社会福祉研究交流集会 In 北海道

**これでいいのか福祉の現場
～住民の権利と福祉労働の実態～**



日時 : 2016.5.21(土)–22(日)

会場 : [21日] 北海道建設会館大ホール

[22日] 北海道立道民活動センター かでのる2・7

宿泊先 : ルートイン札幌駅北口 (1泊朝食付 6,500円)

参加費 : 3,500円 (2日参加) ・ 2,000円 (1日参加)

夕食交流会 : TKP ガーデンシティ札幌駅前 (4,000円)

主催 :  **全国福祉保育労働組合**

〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-6-8 サニープレイスビル 5F-A

電話 03 (5687) 2901 FAX03 (5687) 2903

メール mail@fukuho.org ウェブサイト www.fukuho.info

《北海道でお待ちしています》

憲法 25 条は「生存権、国の社会保障義務」を規定しています。

この精神を確かなものにするため、長年にわたり社会福祉の充実を求める運動が発展してきました。しかし、社会福祉に金がかかりすぎるといふ財源的理由を柱に、福祉は自己責任、自助・共助が強調され、公的責任が後退させられ、福祉の現場は大変なことになっています。

「これでいいのか福祉の現場」と銘打って現場実態を交流するなかで、住民の権利が十分守られているのか、福祉労働者の実態がどうなっているのか等を検証し、憲法 25 条を輝きのあるものにするよう交流を深めたいと思います。北海道で多くの皆さんの参加をお待ちしています。
(開催地実行委員長 松原 清)



【21 日 (土)】

12:15 12:45 13:15

16:50 17:30 19:30

受付 開始	開会 基調報告	シンポジウム Part 1	休 憩	シンポジウム Part 2	移 動	夕食 交流会	移 動	チェク イン
----------	------------	------------------	--------	------------------	--------	-----------	--------	-----------

【22 日 (日)】

8:30 8:45 9:10

11:45 12:00 13:00

移 動	受付 開始	分科会・基礎講座 開催地企画	移 動	まとめ 全体会	パ ナ ー リ ス ト 集 合 ・ 出 発
--------	----------	-------------------	--------	------------	-----------------------------------------------------

《 1 日目 (会場：北海道建設会館) 》

《基調報告・シンポジウム》

厚生労働省が 2015 年 9 月に発表した『新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン』では、誰でも身近な地域で様々な福祉サービスが受けられるための「地域包括」をすすめる規制緩和が打ち出されています。

また、社会福祉にはなじまない「生産性」という概念を持ち込んで、その向上を図るとしています。

しかし、社会福祉には、利用者の権利を守るための規制がもっと必要であり、また、十分な福祉が提供できるように、もっと人の手と目が必要なはずです。

シンポジウムでは、福祉現場で何が起きているのか、どんな問題が起きているのか、どのような支援が求められているのかを、保育・障害・高齢の 3 分野で働く北海道の仲間から報告してもらいます。そのうえで、会場発言なども交えて進行し、福祉労働者に求められる専門性を浮き彫りにしていきます。

【コーディネーター】

石倉康次 教授 (立命館大学)

【パネリストと報告概要】

保育分野：札幌保育労組

増え続ける待機児童を解消するために、「横浜方式」推進の実態や、保育料値上げ問題などの札幌市の保育行政、保育士不足、保育者の労働実態等を報告します。

障害分野：あかしあ労働福祉センター分会

障がいのある方が、地域で働き生活するためにさまざまな事業を幅広くおこなってきた経験、制度改悪を許さないとりくみや職場での労働組合の役割などを報告します。

高齢分野：かりん・あつべつ分会

法人の所在地である札幌市厚別区は、独居のお年寄りや生活保護世帯が多く暮らす地域。訪問活動などをおして見えてくる実態、事業所を利用する方の現状、労働実態等を報告します。

《2日目（会場：北海道立道民活動センター かでる2・7）》

《第1分科会》

「福祉職場での働き方と健康を考えよう」

前回京都社研の、「福祉職場の健康を考えよう」と「働き方と職場環境を見直そう」を統合しました。福祉労働者の働き方と健康問題は、密接に結びついています。労働法令が守られていない職場では病休者が毎年でているなど、福祉労働者の健康対策には、職場の働くルール作りが欠かせない課題です。現場の実態を交流し、改善に向けて話し合います。

《第2分科会》

「福祉労働の専門性を考えよう」

政府は、有資格者の人材確保が困難になっている現状を、資格要件を緩和して安価な労働力を確保することで解消しようとしています。

前日のシンポジウムも受けて、資格問題と福祉労働の専門性を結びつけて考えてみることで、福祉労働者に求められている「専門性」についての議論を深めます。

《基礎講座》

【その①「社会福祉とは何か」(仮題)】

講師：石倉康次教授（立命館大学）

「東日本大震災で福祉労働者が果たした役割に関する調査」（大学と福祉保育労の共同）や、「権利としての福祉を守る関係団体共同実行委員会」学習会等でもおなじみです。社会福祉の歴史や成り立ち、社会福祉に求められる課題など、「そもそも社会福祉とは」をじっくり学べる講義をしていただきます。

【その②「福祉労働とは何か」(仮題)】

講師：川村雅則教授（北海学園大学）

幅広い研究対象のなかで、保育労働・介護労働に関する論文も多数執筆されています。『日本の保育労働者—せめぎあう処遇改善と専門性』（共著）が2015年に出版されています。福祉現場の実態に引き寄せて、福祉労働とは何か、福祉労働者に求められる専門性なども含めて、お話いただく予定です。



《オプションツアー》

「集会が終わった日に帰らなければいけないけれど、せっかく北海道に来たからには、どこか観たいし、おいしいものも食べたい」というみなさん。

2日目会場「かでる2・7」から、徒歩で札幌中心街の観光スポットをめぐる2時間程度のミニツアーを、開催地実行員会で用意しています。道庁赤れんがや時計台、大通公園などの名所を散策、途中でおいしい昼食を満喫してもらいます。

（※）参加は無料ですが昼食は実費です

札幌郊外の観光スポットについては、案内マップを作成して、参加者各自で楽しんでもらえるように準備しています。

《開催地企画》

「しゃべっていいべや（部屋）」 ～思いを語る分科会～

自分の現場のこと、自分の働き方、福祉とは？専門性とは？…など、全国の仲間と数名のグループに分かれ、いくつかのお題にそって、実態や思いを出し合ってください参加型の分科会を企画中です。同じ種別でも、地域や職場によって利用者を取り巻く状況や労働環境は全く違うもの。普段関わることのない人同士でのグループワークで、明日からの仕事や組合活動のヒントやたくさんの刺激をもらえるはずです！



【会場・宿泊先・夕食交流会会場へのアクセス】



★ **ルートイン札幌駅北口**
札幌市北区北7条西4丁目2-2
JR札幌駅北口から徒歩1分

★ **北海道建設会館**
札幌市中央区北4条西3丁目1番地
JR札幌駅南口から徒歩3分

★ **北海道立道民活動センターかでの2・7**
札幌市中央区北2条西7丁目
JR札幌駅南口から徒歩13分

★ **TKPガーデンシティ札幌駅前**
札幌市中央区北2条西2丁目
JR札幌駅南口から徒歩5分

〔お申し込み締め切り〕 2016年4月28日(木)

- ①申込書に記入し、郵便またはFAX（表紙に記載）で送ってください。
- ②参加費などの費用は5月13日までに下記の振込先に入金してください（可能な限り地本・支部でまとめて）。

【振込先】 みずほ銀行浅草支店 普通 1599940 全国福祉保育労働組合

切りとり

〔第22回社会福祉研究交流集会 in 北海道 参加申し込み用紙〕

(フリガナ) 氏名		地本・支部・分会名 (組合員以外は所属等)	22日参加希望 (ひとつだけに○)	参加する内容に ○をつけて下さい	
	男 ・ 女		基礎講座	21日	
			分科会①		
			分科会②	夕食 交流会	
連絡先(自宅・職場) <住所>				21日 宿泊	喫煙 禁煙
<電話>				22日	
				お泊り	
以下の金額を振り込みます(該当の口に✓を入れて参加費を記入、必要に応じ宿泊・夕食交流会を合算)					
参加費□2日・□1日() + □宿泊(6,500) + □夕食交流会(4,000)				合計	円